

NTTドコモ

スマートフォンのグローバルスタンダード 「BlackBerry」で実現するワークスタイルの革新

強固なセキュリティを担保したモバイルソリューション BlackBerry

世界中で270以上のキャリアで展開され、900万以上のビジネスパーソンが活用する、グローバルスタンダードなモバイルソリューション「BlackBerry」。カナダのResearch In Motion（以下、RIM社）が開発・製造しているスマートフォンだ。音声通話のほか、グループウェアと連携し電子メールの自動受信、添付ファイルの閲覧、カレンダーやアドレス帳などの自動同期、インターネットへのアクセス、アプリケーションによる企業データへのアクセスなどが可能。ビジネスパーソンの業務効率や生産性を大きく向上させる企業向けモバイルソリューションのグローバルスタンダードだ。

2006年9月、ついにNTTドコモの手で、待望のBlackBerryが日本に上陸した。NTTドコモは、端末「BlackBerry 8707h」、専用サーバ「BlackBerry Enterprise Server」（以下、BES）、と両者をセキュアに接続する「BlackBerry ネットワークサービス」に対応した「BlackBerry Enterprise Solution」を提供開始した（図1参照）。

「金融業界では既に独自の業務アプリケーションを開発し、お使いいた

だしているお客様もごいます。RIM社では、アプリケーション開発環境『BlackBerry Mobile Data System（以下、MDS）』をご提供しています。MDSを活用すると、セキュリティ、管理機能、プッシュ機能などを備え、企業システムへワイヤレスアクセスが可能な業務アプリケーションを開発することができます。BlackBerryは、直感的に操作できる端末の使いやすさもさることながら、BESを構築するだけで強固なセキュリティを担保したモバイルソリューションを実現できる点が最大の特長です。また、BlackBerryはシステム管理者が全てのセットアップを行います。システム管理者がサーバ側でID、パスワードを作成し、エンタープライズアクティベーションという初期セットアップ機能で設定した内容を無線ネットワークを介してサーバから端末へ送信します。つまり、BlackBerry上で動作する電子メール、アドレス帳、インターネットへのアクセスや業務アプリケーション



(株)NTTドコモ
法人営業本部
モバイルデザイン推進室
ディレクター
三嶋 俊一郎氏

などのサービスを全てシステム管理者がグループ毎に設定できるのです。例えば、インターネットへのアクセスを禁止し、会社の電子メールのみ受信できるような設定も可能ですし、個人で内容を変更したりすることはできません。」(株)NTTドコモ 法人営業本部 モバイルデザイン推進室ディレクター 三嶋 俊一郎氏)

BlackBerry が日本語対応に

NTTドコモは昨年9月の発売開始以後、Eメールなどの受信は日本

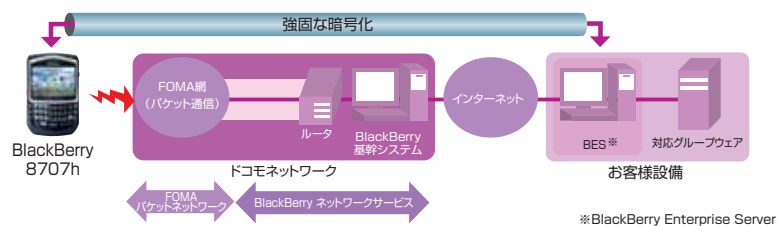


図1 BlackBerry Enterprise Solutionの全体構成

語表示可能だが、日本語入力機能がない英語版BlackBerryを提供してきた。2007年6月、NTTドコモとRIM社は、BlackBerryの日本語対応に合意、日本語版ソフトウェアを開発。2007年7月23日、NTTドコモは、日本語対応版BlackBerryの提供を開始した。

BlackBerryの日本語対応は、「BlackBerryを日本語環境で利用したい」という法人顧客からの要望に応えるものだ。今回の日本語化の対象は、「BlackBerry 8707h」の端末ソフトウェア、「BES」とBlackBerry端末とクライアントPCとの連携を行う「BlackBerry Desktop Software」である。

これにより、IBM社のLotus Domino、Microsoft社のExchangeと連携させたセキュアな日本語環境で電子メールやスケジュール、アドレス帳、業務アプリケーションなどの法人向けソリューションの利用が可能となる。

BlackBerryの日本語対応版は、メニュー画面や各種プリインストールされたアプリケーションを日本語



写真1 電子メールアプリケーションのメニュー表示

のユーザーインターフェースで使えるようになる（写真1参照）。また予測変換機能を含む日本語入力が可能になる（写真2参照）。

End-to-Endでの強固なセキュリティを確保する暗号化オプション

BlackBerry Enterprise Solutionが提供するセキュアな環境は、BESと端末により実現されている。

「BESと端末で実現するセキュリティは、ワイヤレス端末で企業内データにアクセスする場合に必要なとされる、①企業ファイアウォールの完全性、②企業ネットワークの機密性・完全性、③端末上のデータの機密性、④ウイルスからの防護、⑤現行企業セキュリティ基準への対応などの領域で十分なセキュリティ対策が施されています。なりすましなどはできません。」（株NTTドコモ法人営業本部 法人ビジネス戦略部 グローバル戦略担当 石川 恵一郎氏）

以下、BESで提供されるセキュリティ機能について紹介する。



写真2 電子メールでの日本語入力（予測変換機能を含む）



（株）NTTドコモ
法人営業本部
法人ビジネス戦略部
グローバル戦略担当
石川 恵一郎氏

■ワイヤレスネットワークのセキュリティ

- ・ BlackBerry端末とBESとの間は、End-to-EndでTriple DES（Data Encryption Standard：米国政府標準暗号化規格として開発されたDESの進化版、現在でも多くの標準規格として採用されている）またはAES（Advanced Encryption Standard：Triple DESに代わる、新たな米国政府標準暗号規格）により暗号化されている。この暗号化オプションは、システム管理者が選択できる。
- ・ ファイアウォールを越えて、ワイヤレスネットワーク経由で端末とやり取りされる情報の機密性と信頼性を確保している（図2参照）。
- ・ 暗号キーの機能は、ユーザー毎のセキュアなメールボックスとBlackBerry端末のみに保持されたプライベートキーを使用する。データは、ユーザーのメールボックスから取得されたプライベートキーを利用してBESが暗号化し、BlackBerry端末に送信する。暗号化された情報は、セキュアにネ

ットワークを伝送し、端末に保持されているキーで復号化。伝送中は常にデータは暗号化されているので、企業のファイアウォール外では復号化は不可能である。

- ・企業ネットワークへの接続については、ファイアウォールの3101ポートを通じ、アウトバウンド通信のみ接続が開始され、その後双方向の接続が認証される。メッセージやデータは、BlackBerry端末で受信されるまで暗号化されたままで複合化されない。

■ワイヤレス端末のセキュリティ

- ・BESからの遠隔操作でBlackBerry端末のセキュリティ設定をシステム管理者が、一括設定できる。
- ・ITポリシーが約200以上用意され、グループごとに設定が可能。
- ・端末の紛失、盗難時にはシステム管理者が、遠隔操作で全ての保存データを消去し、端末の初期化が可能。さらに、パスワードの設定／リセットや端末のロックを行うことにより、情報漏洩を防止することができる。
- ・端末パスワードのオプション機能

を設定することにより、一定回数パスワード誤入力を行うと、端末上のデータを消去できる。

- ・BlackBerry Desktop ManagerでPCと接続する際も、端末のパスワードで認証を行う。
- ・端末上の全てのデータは、常に暗号化されて保存している。たとえ紛失したとしてもデータを読み取することは不可能である。

■実証された安全性

- ・BlackBerry端末は、BESと共にカナダ、米国政府をはじめ、セキュリティに厳格な組織が適用する製品調達基準であるFIPS (Federal Information Processing Standards) 140-2セキュリティ認証をNIST (米国政府標準化技術研究所) から取得している。
- ・セキュリティコンサルティング会社の@stake社が、BlackBerryソリューションを全ての局面から深く評価し、BlackBerryのセキュリティモデルを認証している。「BlackBerryは『ワイヤレスネットワークのセキュリティ』『ワイヤレス端末のセキュリティ』『多くの政府・軍隊の厳格な暗号化基準に準

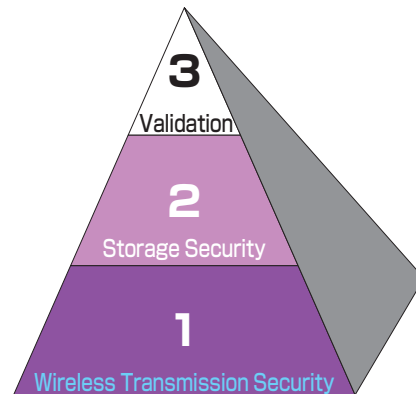


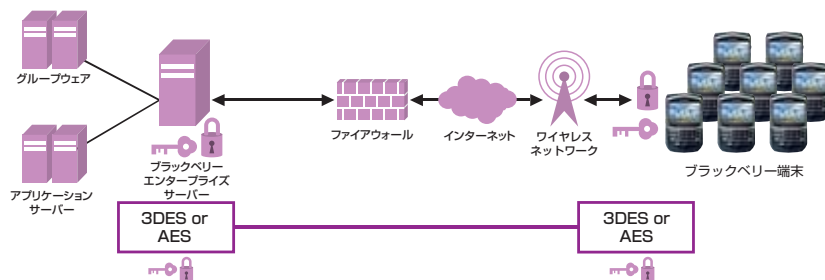
図3 BlackBerryのセキュリティピラミッド

拠済みの実績と多くの企業・政府組織で受け入れられた利用実績に裏付けられた最高のセキュリティ』を、セキュリティの3本柱としています(図3参照)。このようにBlackBerryは、VPN接続と同等の安全性をご提供しています。」(前出 石川 恵一郎氏)

スマートカードリーダーによるセキュリティの実現

さらにBlackBerryは、すでにグローバル企業が定めているセキュリティ基準にも対応している。その代表例が、ワイヤレスネットワーク経由でメッセージに対する署名・暗号化が可能であり、送信者と受信者でのセキュリティを確保できるS/MIMEとPGPのサポートだ。

また、BlackBerry特有のセキュリティが、「スマートカードリーダー (ICカード)」である(写真3参照)。スマートカードリーダーは、BluetoothでBlackBerry本体と接続させるが、一定の範囲を超えると、Bluetoothの接続が切断され、端末がロックされる機能を持っている。



End-to-Endでの強固なセキュリティを確保する暗号化オプション

- ・Triple DES (Data Encryption Standard)
- ・AES (Advanced Encryption Standard)

図2 End-to-Endでのセキュリティモデル

身分証明書などのIDカードにスマートカードリーダーを活用し、常に身に付けておくことで、万が一端末を紛失した場合でも、端末はロックがかかり使用できなくなるのだ。

グローバル企業向けの 完全なワイヤレスソリューション

BlackBerryは、グローバルスタンダードなセキュリティ基準を担保したセキュリティソリューションとしても、外資系企業や海外でビジネスを展開する日系企業のビジネスパーソンを中心に大好評だ。

「外資系企業や大手金融機関など海外に拠点展開されている企業のお客様の反応は、海外勤務から日本へ帰国された際に『これだけ強固なセキュリティ機能を持ち、使いやすいBlackBerryをなぜ使わないのか』というご意見をよくお聞きします。BlackBerry自体がブランドとなっており、北米に本社がある企業がBlackBerry以外の端末を導入しようとする、セキュリティポリシーの問題から本社への説得に非常に苦労するというお話も聞いています。BlackBerryというブランドは、グローバルにビジネスを展開する企業の定番ソリューションとなっています。日本企業でも、金融業、サービス業、コンサルティング業や監査法人などの時間と情報にセンシティブな業界や海外に製造拠点を展開している製造業のお客様を中心に、大変好評をいただいております。」（前出 三嶋 俊一郎氏）

今回の日本語版BlackBerryの販

売開始と合わせて、NTTドコモでは、ビジネスパーソンをサポートするBlackBerry用のツールやコンテンツの提供を検討している。

さらに、小規模なユーザー向けのサービスとして、BlackBerry Internet Service（以下、BIS）の導入も検討している。BISは、弁護士や公認会計士など会社組織に属さない個人でビジネスをされている方々向けのサービスだ。

「BlackBerry OSとは異なるSymbian OSやMicrosoft Windows Mobile搭載端末上でもBlackBerryのサービスを利用できる『BlackBerry Connect』のご提供も検討しています。BlackBerry Connectソフトウェアをインストールすると、BESと通信ができ、BlackBerryのセキュアな電子メールが利用できます。このようにBlackBerryを端末ではなく、ソリューションと捉えています。従って、将来的にはBlackBerryのセキュアなアプリケーションを他のOSの端末でも利用することもできます。そして今後は、他の端末で開発されたアプリケーションをBlackBerryで利用できたり、BlackBerryのアプリケーションを他のOSの端末でも利用できるようになります。」（前出 三嶋 俊一郎氏）



写真3 スマートカードリーダー本体と身分証明書の利用例

BlackBerryの導入による ワークスタイルの変革を推進

NTTドコモでは、企業の経営者層やCIO、情報システム管理者の方々がBlackBerryを実際に体験できる環境の提供を目的に、BlackBerry端末とBESをセットで一定期間貸し出しする「Try BlackBerryキャンペーン」を実施している。（※提供条件有）

「BlackBerryを導入することで、いつでもどこでも空いた時間を活用して電子メールの送受信が可能になります。そして、長時間労働や無駄な時間を削減し、生産性の向上を実現できます。BlackBerryを活用し、日本のビジネスパーソンのワークスタイル革新のお手伝いを出来ればと考えています。」（前出 三嶋 俊一郎氏）

お問い合わせ先

(株)NTTドコモ

ドコモの法人向けサイト

「DoCoMo Business Online」

URL : <http://www.docomo.biz/>